

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東北)	◎	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が減少し、Go To Travelキャンペーンが再開されることを前提に、国内旅行の客が動き出すことが考えられる。また、そのように期待もしている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症は今が最悪であり、今後はワクチン等で収束に向かうと信じている。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・ワクチンがどこまでの効果をもたらすのかによって大きく変わってくるが、急激に良くなることなどは決していない。ただ、感染者を増やさず、人が動くような状況を作っていかなければ飲食店を始め全ての店が耐えていけない状況にある。現状維持ではもう持ちこたえられない。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスワクチン接種が進むにつれ、消費マインドも上昇し需要の回復が進むものと考えられる。
	○	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、例年どおりにはならないまでもイベントが開催されるようになり、経済活動へのポジティブな影響が想定される。
	○	百貨店（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の増減次第だが、ワクチン接種が一般にも始まり、多少消費マインドが回復すると期待している。
	○	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば人の流れも徐々に戻ってくるとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・除雪代や高熱費の負担は楽になるが、毎月売上が前年より落ちているなかで期待はできない。今年はイベントや祭りも開催するようだが、どの程度売上に結び付くのか全く予想ができない。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスワクチン接種により、人の流れがより活発になると推測され、来客数及び販売量の増加が見込まれる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染者数が減少となれば、人出が戻り売上拡大が見込める。
	○	コンビニ（エリア担当）	・春夏に向けて来客数増加に期待している。
	○	コンビニ（店長）	・ウィズコロナにおけるライフサイクルが大分定着してきている。よって、今後、暖かくなるにつれて、深夜は別にして人が出てくるので、少し良くなっていくのではないかと期待している。
	○	衣料品専門店（経営者）	・気候も良くなり、新型コロナウイルスの感染収束のめどが立ってくると、客の気持ちも外向きになってくることが期待できる。
	○	衣料品専門店（店長）	・前年のどん底に比べたら、入学、卒業需要といったモチベーション需要が回復してきている。また、ふだん着需要も緩やかに以前のような状況に戻つつある。
	○	家電量販店（店長）	・経済活動が活発になることを見込んでいる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・メーカー決算のため今月は受注台数が増加しているが、前年実績に比べても増加しているため、新型車の発表で更に新規来場も見込める。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・この先、今よりはもう少し新型コロナウイルス感染症の状況も落ち着いてくれるとみている。そこで人の動きが戻れば売上も上がる。自粛ばかりでイベントや祭りが無いことが本当に痛い。
○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン開発等により、移動需要が拡大することを望んでいる。	
○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・感染状況にもよるが、今後、ワクチンの普及や東京オリンピックに対する期待感が強まれば、多少景気の底上げにはなってくる。	
○	高級レストラン（支配人）	・コロナ疲れもあり、新型コロナウイルス感染症の第3波を乗り切ったことで客も大分動き出している。特にランチタイムの来客数は前年10月のコロナ禍においても良かった月と同程度なので、その流れは来月、再来月と続くのではないかとみている。夜は相変わらず静かであるが、企業もイベントなどがあれば、少人数で使われる可能性も高いとみている。	

○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、ワクチン接種が進めば少し良くなると期待したい。
○	旅行代理店（従業員）	・海外からの人が来ないとしても、東京オリンピック・パラリンピックによって多少は良くなってほしい。
○	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染者数が100人を超える前は、タクシー利用者が増加傾向にあったことから考えると、感染者が減少していけば外出に転じる人が多くなるとみている。
○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が終息に向かったとしても、生活様式の変化は簡単には戻らないとみられるため、通信の需要は引き続き増える。動画配信サービス等の利用者の増加により、インターネットサービス利用者のデータ通信量は2年前の4倍、前年の倍に増えている。このデータ伝送に対応できる設備投資をしているため、客へ快適なサービス提供が可能になっている。これにより、新規加入及びギガサービスなど上位メニューへコースアップする客も増えている。
○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第にはなるが、終息に向かえば客も少しは外出したりするのではないかと。ただ、世界的にいろいろな業種が落ち込んでいるので、収入などが以前同様になるまでは時間が掛かる。よって、来客数や購入率が完全に戻るのも時間が掛かるとみている。
○	観光名所（職員）	・関東方面の緊急事態宣言が解除されて大分上向きになっている。残念ながら地震や県内での緊急事態宣言があって県内客は減っているが、関東方面からの客や他県客の予約は徐々に入ってきているので、少し良くなってくるとみている。
○	美容室（経営者）	・2～3か月後には65歳以上の人を対象としたワクチンの接種も始まるということなので、それに伴って客も戻ってくるのではないかとみている。
○	住宅販売会社（経営者）	・小坪数の分譲地を整備中で、問合せもあり、受注拡大の段取り中である。
○	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・現在よりは経済状況の改善が見込める。
□	商店街（代表者）	・ゴールデンウィークから夏場に掛けてのイベントは、前年は中止になったが今年はある程度開催される。特にねぶた祭の開催が発表されているので、良い方に影響するとみている。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況に景気は大きく左右される。春の祭りやイベントの中止が増えてきていることから、現状と変わらないとみている。
□	商店街（代表者）	・とにかく新型コロナウイルスに左右されている。収束の見込みもなく、景気の状態は変わらない。
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・販売量を押上げる質の高い書籍、雑誌の動きが一段落してきている。また、キャッシュレスに向かって思ったより消費動向に上振れ感がないので、停滞が続くとみている。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・現在の状況が変わらないのであれば、今後2～3か月先もこの状態が続く。客の購買意欲をみていると決して悪くはないので、このままいくのではないかとみている。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・中間層の客の来店が減っており、来客数が落ち込んでいる。客との会話からもかなり厳しい状況が見取れる。今後、何らかの経済対策が採られると予想しているが、結果としては変わらないとみている。
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響もあるのだろうが、相変わらず客の商品購入意欲は低い。
□	スーパー（店長）	・相変わらず来客数の減少が続いている。客単価も若干下がり気味で、このままいくとマイナス基調になりそうで心配な状況である。
□	スーパー（企画担当）	・食品小売業に関しては、コロナ禍で今までと同様、内食需要が続いている。今のところはまだ同じような状況が続くとみられる。
□	コンビニ（経営者）	・コロナ禍における生活様式が定着している。活動したり自粛したり連続なので、そういった面では波がある。波が落ち着くことが希望ではあるが、多少悪くなることも予想される。
□	コンビニ（経営者）	・売上前年比が依然厳しく、回復の兆しが見えない。

□	コンビニ（経営者）	・気候が良くなってきて少しずつ人出は多くなってきているが、新型コロナウイルスの影響のため、余り変わらないとみている。
□	コンビニ（エリア担当）	・東北地方全体でスポーツ、祭りといったイベントは実施していく方向であるが、自粛期間が延長される場合は今以上の景気の冷え込みも予測される。
□	衣料品専門店（経営者）	・花見や行楽に出掛ける人が増加し、感染拡大につながることを心配している。
□	衣料品専門店（総務担当）	・現状の環境が続くと考えられるため、今より良くなるとは考えにくい。
□	乗用車販売店（従業員）	・新車販売についていえば、長納期の傾向にあり、メーカーからの供給がいつになるかに懸かっている。また、中古車市場では、販売車両が少なく、オークションでも車両価格が僅かに上がっている。頼りになるのは、日々のサービス売上である。辛うじて、前年比100%前後の売上を上げているので、安定した収益はサービス売上より得られるが、車販がみえない。現状維持若しくは若干悪くなることが予想される。
□	住関連専門店（経営者）	・3か月先だと高齢者にワクチンが浸透していると予想されるので、客がシルバー世代中心の当店としては、順調である今月並みの売上が期待できる。
□	住関連専門店（経営者）	・店頭販売が非常に悪くなっている。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症のクラスターが身近なところでも発生している。景気も回復しきれず、今のまま推移するとみている。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。レストランは不要不急ということで、客が全くと言っていいほど来ない状況が続いており、経営がかなりひっ迫している。1日も早い回復を願っている。
□	一般レストラン（経営者）	・ワクチンが行き渡るまでは時短要請が出たり出なかったり、いちごっこになることが予想されるので、景気が良くなる要素はない。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピック、パラリンピックが終わらない限り、地方の景気の回復は難しい。
□	観光型旅館（スタッフ）	・ワクチンが徐々に行き渡るが、周囲を見ながらの情勢になると思うので、大きな変化は見られないとみている。
□	通信会社（営業担当）	・転職異動も前年より若干増えているが、ITを導入している企業が人事異動を削減しているため、運輸業界も一昨年と比べ引越越し需要が下げ止まり傾向のようである。前年よりは需要はあるが利益が少ないと業界の方が不平不満を述べていた。全体的に景気は平行線のままで前月と変わらない。
□	通信会社（営業担当）	・好転する材料に乏しく、現状維持がやっとだとみている。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況は多少改善されるとみているが、営業しにくさは変わらない。
□	競艇場（職員）	・広告、宣伝が思うようには打てない現状は変わらない。徐々に来場促進イベントを行う計画を立てているが、売上に結び付くかは実施してみないと何ともいえない状況である。
□	美容室（経営者）	・旅行やイベントが減っていることで、髪を切るペースが遅くなっている。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・ワクチンの接種スケジュールもみえず、大型連休辺りには再び感染爆発の危惧もある。回復の兆しは全く見えない。
□	設計事務所（経営者）	・少し良い状態のまま変わらないと考えている。官公庁においては東日本大震災の余震による復旧設計が、民間においては補助金などを当て込んだ依頼が、次年度は予定外の案件として増えることが予想される。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・収入減少による節約志向の強まりを予測しており、それにより高額のリフォーム工事は減るとみている。住宅設備機器販売は、エアコンなど巣籠り生活に適した商品の問合せが増えるとみている。
▲	百貨店（買付担当）	・現在感染状況は比較的落ち着いており、客足も回復しつつある。しかし、新型コロナウイルスワクチン接種の見通しがはっきりしておらず、先行きは不透明である。感染が広まれば外出自粛につながるのとは明らかで、感染状況次第と考える。

▲	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス対策のワクチン接種が終わるのはまだ先で、経済政策の執行もこれからなので外出自粛等は続く。緊急事態宣言は解除されたものの、消費傾向はしばらくは解除前と同傾向を示すとみている。
▲	スーパー（店長）	・前年4月は月初めから客単価が急激に上がり5月末頃まで売上が伸長した。今年も同様の販売状況になるとは考えにくく、今後2か月程度は厳しい状況になると推測している。
▲	スーパー（店長）	・前年は新型コロナウイルスの影響で、4月は売上前年比109.4%、5月は110%と大変売上が伸びた。1年経った今、今後の高い伸びは期待できない。
▲	スーパー（営業担当）	・最近の来客数の低迷は、特に平日の落ち込みが大きくなっている。
▲	スーパー（営業担当）	・地域独自の緊急事態宣言が発出されたが、感染者は増加傾向にあり、連日人数増加がみられることから、経済活動の低下が進む。前年のような異常な買物動向にはならないとすると、来店頻度の減少、客単価の減少が懸念される。
▲	コンビニ（経営者）	・夜の会食が増え始め、アルコール対策用ドリンク等が動き出している。しかし、月後半に入り、緊急事態宣言の発出によりまた動きが止まってしまった。ようやく動き出し始めて期待していたのだが、もう少し我慢の状態が続くとみられる。
▲	衣料品専門店（経営者）	・例年の4月以降はなじみ客の購買が一段落し、振りの客が中心になるため、売上高が不安定になると予測する。
▲	衣料品専門店（店長）	・これまでは何とか持ちこたえていたが、ここに来て新型コロナウイルス感染者が増えてきて、入学式の簡略化や中止等々が出てきている。このような状況が続くと、儀礼でのスーツ着用を予定している人にも大きく影響するので、感染状況を大変懸念している。
▲	衣料品専門店（店長）	・2～3月は特定マーケットが喚起されたが、一般ビジネスは景気の影響を受けるため、しばらく厳しい状況が続くと予想される。
▲	家電量販店（店長）	・前年のようなコロナバブルは起きていない。家電製品は買換え需要があるので、基本的な売上は大きくは変わらないとみる。客は、新型コロナウイルスの影響が強まってきて景気が悪くなるのではないかと判断している。そのため、徐々に単価が下がってくるのではないかとみている。
▲	家電量販店（従業員）	・東京オリンピックがあるところで家電需要に回ってくれば多少は盛り上がり期待できるが、今のところは内向きな需要から旅行など外向きな需要に変わっていくといった形になるのではないかとみている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・決算期である今月が一番販売台数が伸びる時期だが伸びておらず、今後も販売台数は伸びないのではないかと予測している。
▲	乗用車販売店（本部）	・更に強い制限が自治体から掛かる懸念があり、今後をかなり心配する客からの声も大きい。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・歓迎会、総会シーズンでもあるが自粛が続くなか、ワクチン接種が始まるものの、この先3か月ほどは様子見で人の移動はまだまだ少ないと予想される。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・夜のビジネス利用はどんどん減ってきている。接待はもとより、宴会もなくなり、それが文化として根付いてしまうことを憂慮している。
▲	観光型ホテル（経営者）	・今後2～3か月先の景気が良くなるのか悪くなるのか見通しが立たない状況である。新型コロナウイルスの感染状況次第である。
▲	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の拡大状況及びGo To Travelキャンペーンの再開によって左右されるものの、現状ではこの先3か月の受注も旅行需要ではほぼないことから、旅行業界にとつての景気は悪化傾向にあるといえる。
▲	通信会社（営業担当）	・ワクチンの接種が徐々にスタートしているが、医療関係者の見解では急激な収束は見込めないようである。そのため、当面は景気が悪くなる傾向が続くとみている。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者の増減の流れを考えると、やや悪くなるのではとみている。

	▲	観光名所（職員）	・ワクチンに期待をしたいところだが接種が進んでいない様子がかがえる。隣県で感染者が急増しており再び自粛モードに逆戻りする心配がある。桜ツアーも前年同様、キャンセルが発生している。
	▲	遊園地（経営者）	・前年のような国の緊急事態宣言により休業に追い込まれる事態は避けたいが、先行きが不透明でとても楽観できない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が取まらない限り消費は増えない。予約状況からみても完全に市中の消費が止まったようにみえる。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・緊急事態宣言の期間は4月11日までだが、現状、新型コロナウイルス感染者は多い。ワクチン接種の遅れが続けば、このまま悪い状態が続く。
	×	スーパー（経営者）	・可処分所得が伸びないなか、デフレ化の傾向は更に強まる。さらに、4月から総額表示に切り替わるため、割高感により客の購買意欲が落ちる。
	×	コンビニ（経営者）	・平日の客は戻ってきているが、土日の観光の客がなかなか戻らないので、この先も悪くなっていくと予想している。
	×	住関連専門店（経営者）	・受注生産の仕事であり、今後2～3か月は年度末と比べると仕事量が少なくなっているため、今年よりは相当落ち込むという予想がもう出ている。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・様々な対策を打ってはいるが、先が見通せない。せめて小康状態が続いてくれればよいが、予断を許さない状況が続くとみている。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが何とかならない限り、全く先が読めない。収束することを祈るばかりである。
	×	一般レストラン（経営者）	・今の頼みの綱はワクチンだと思うが、新型コロナウイルスワクチンの接種は遅れている。ほかには景気が良くなるような要素はなく、夜の街はかなり閑散としている。ワクチン次第である。
	×	一般レストラン（経営者）	・国としての考え方だとは思いますが、今は大企業ベースでの景気判断や外資の流れを気にした政策により、国内の経済に活気をもたらすという意識が薄すぎる。その結果、外からの新型コロナウイルスの持込みを簡単に許してしまっている。その現実を変えていかない限りは、ワクチン効果がそれなりに行き渡るようになる年末までは何も変わらない。
	×	タクシー運転手	・首都圏で緊急事態宣言が解除されたが、当県での感染者数激増により県独自の緊急事態宣言が発出され、飲食店に向け営業時間短縮の協力要請がなされており、先がみえない。
	×	タクシー運転手	・店を営んでいる知人がいるが、新型コロナウイルスにより夜の営業が成り立たない状況になっているということである。また、同業で廃業を検討する人が出ているという話も聞いているので、まだまだ底が見えていない。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—
	○	食料品製造業（経営者）	・前年の4～5月がひどすぎたので、前年と比較すればまだいいが、一昨年の数字と比較すると厳しい売上である。何とかしてほしい。
	○	食料品製造業（営業担当）	・地方において新型コロナウイルス感染が拡大しており、県独自の緊急事態宣言も出ているが、感染症対策をしながら活動する動きが出始めているようである。観光事業は、個人旅行を中心にビジネス関係も徐々に人の移動は増えていくとみている。
	○	金属製品製造業（経営者）	・東京オリンピックの開催など不安要素はありつつも、少しずつ受注量が増えている。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・東京オリンピック開催による景気回復を期待している。
	○	金融業（広報担当）	・県内ではクラスターの発生もあるが、ワクチン接種の拡大や祭り等集客イベントの開催により、インバウンド回復は難しいながらも経済の動きはより活発になるものと期待できる。
	○	広告代理店（経営者）	・イベントの増加、企業のマーケティング、広告活動の再活性化が、新型コロナウイルス感染の収束に伴って進むとみられる。
	□	農林水産業（従業者）	・今春の果物の開花は今までになく早くなっているので、収穫時も早まり、それにより販売価格も良くなると期待している。

□	食料品製造業（営業担当）	・3か月先も状況は厳しく、販売量の前年割れは続く予想している。景気回復には、もう少し時間が掛かるとみている。
□	出版・印刷・関連産業（経営者）	・人口減少、少子高齢化による地方の衰退、疲弊感に震災復興の一巡とコロナ禍の長期化が加わり、人の往来が途絶えたことで地方経済に勢いが戻る前にしぼんでしまっている。
□	電気機械器具製造業（企画担当）	・この業界の好景気はもうしばらくは継続すると考えられる。従来は、受注価格は徐々に低下するのが一般的だったが、現在は逆の傾向が現れている。
□	輸送業（経営者）	・既に新型コロナウイルス感染の第4波が始まったとささやかれ出した状況においては、人の移動等に制限が掛かり、景気に対してマイナス要因となる。また、ここ数日円安が進み110円を超えた。燃料費は前年5月に底を打ち、以後現在まで値上がりが続けており、輸送業界にとっては更なる負担増加が予想される。
□	通信業（営業担当）	・まだ楽観視はできない。今後も気を抜くことなく客のために新型コロナウイルス感染予防につながる営業努力を継続していくのみである。
□	金融業（営業担当）	・ワクチン効果が現れるまでは厳しい状況が続くとみられる。
□	広告業協会（役員）	・ワクチン接種が順調に進み、新規感染者も減少して、イベントやGo Toキャンペーンの復活となれば、急上昇する可能性はあるが、リバウンドしている状態ではその逆もある。
□	広告代理店（経営者）	・良くなる理由が見当たらない。
□	公認会計士	・飲食、小売は業態転換の客も出てきており、苦しい会社が多い。建設関係はさほど影響を受けないとみているが、新型コロナウイルスの感染が落ち着かないことには、全体としての景気は上向かないとみられる。
□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・見積案件等は徐々に増えてきているが、納期、価格等の対応が厳しい状況下から脱していない。設備投資及び人員増加へとまではまだいかない。
▲	建設業（従業員）	・2～3か月後に契約見込みの案件が控えているものの、今月の契約額より低下する見込みである。
▲	建設業（企画担当）	・地域の新型コロナウイルス感染拡大による悪化の影響が長引く状況にある。
▲	通信業（営業担当）	・年度末の駆け込み需要が落ち着く。
▲	経営コンサルタント	・東北のハブである当県での緊急事態宣言発出は東北各県にも悪影響を及ぼす。
▲	司法書士	・年度末の繁忙期となる今月の需要が例年と比べて劣っている。小規模分譲地の販売や低価格帯の住宅は好調である一方で、不動産取引の引き合いがないと嘆く取引先も複数あり、全体的には盛り上がりには欠ける。
▲	コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルス感染がある程度収束していかないと先がみえない。しばらくは様子を見て、感染者の減少傾向がみられたら、商談も活発になっていくとみている。
▲	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況によって景気は左右される。3月後半も悪いが、4～5月も以前よりは悪くなる。
▲	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・首都圏の感染者数拡大でゴールデンウィークへの影響を懸念している。県内の緊急事態宣言も延長の可能性がある。再び人の移動が制限される可能性が高まっている。
▲	その他企業〔企画業〕（経営者）	・県独自の緊急事態宣言で人の流れが抑制され、町の施策である交流人口拡大に暗雲が訪れることが予想される。さらに、隣県からの人の流れの減少も気になる要素である。
×	農林水産業（従業者）	・米の過剰在庫と新型コロナウイルスの影響により、米価が一段と下落することが予想される。
×	窯業・土石製品製造業（役員）	・官民工事の減少により出荷は低迷している。また、当県では地震の連続発生に加え、新型コロナウイルス感染が急拡大している。新型コロナウイルス感染も収束が見通せず、地域経済に明るさがみえない。
×	輸送業（従業員）	・県内で新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、長期化すると予想する。
雇用	◎	—

関連 (東北)	○	人材派遣会社（社員）	・地場大手企業の正規社員が自宅勤務を続けているなかで常駐人員の一部代替増員の相談が増えている。配属されるオフィスは閑散としていて密の懸念もない。今後ウィズコロナの人材需要を提案していくつもりである。
	○	人材派遣会社（社員）	・2021年度の採用計画としては前向きな募集背景も増えており、今後は良くなっていくことが想定される。当然、足元の不安定さはあるが、その上で成長、維持のために人材に投資をしていく傾向がみられる。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの流行度合い次第だが、ワクチン接種開始のニュースにより安心感が出て、人の動きが加速するとみている。その反面、大型流行の第4波が来た場合は一気に冷え込む恐れもある。流行度合いが現状と同程度で東京オリンピック開催が正式に見えてくれば景気は良くなっていくとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・ワクチンの投与が県民全体に行き届かなければ、今の一進一退の様子見の経済活動は変わらずにとみている。先行き不透明なので、新規の採用や新規の設備投資をちゅうちょする経営者が多いようである。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が大きいので、採用に関しては動きがあるところとないところがある。ワクチン接種や第4波など先行きが見えないため、この動きは継続するとみられる。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・いずれの業種もコロナ禍で苦境が続いている。地方、特に感染増加率全国トップクラスの当県では、流通、飲食等が大打撃を受けている。前年比較でどうかではなく、倒産の危機にひんしている。国なり自治体の早急な支援対策が望まれる。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響はなくなる。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数は僅かながら増加しているものの、新規求職者数の増加の方が上回っており、気になるところである。
	□	学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は悪いまま変わらないとみている。
	▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染急拡大により、経済活動へ余波があるものと予想している。
	▲	人材派遣会社（社員）	・企業の採用意欲は上向きつつあったが、当県の緊急事態宣言発出と新型コロナウイルス感染状況の悪化により、一気に先行きが不透明になっている。
	▲	アウトソーシング企業（社員）	・緊急事態宣言が発出され会議にも影響が出ているようである。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響を抑えていた大型建設工事の終期が近づいている。
	▲	職業安定所（職員）	・東北地方の新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の影響が懸念されている。
	▲	職業安定所（職員）	・前年4月から今年2月までの新規求人数、有効求人数を前年同月と比較すると、新規求人数で約1万人、有効求人数で約2万人減少している。減少傾向は今後も続くと思われる。
×	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピックに照準を置いた新型コロナウイルス対策を続ける限り、回復は難しい。	